

我が家家の家庭教育

|| 親と子のかけ橋 ||

篠原 鶴沢 洋子

我が家での家庭教育の柱は、家族六人が足並みそろえて生活を：第一と考へております。祖父母、私達夫婦、中二の男子、小四の女子と六人家族。愛情、しつけの両面から、祖父母にも全面的に協力してもらつております。

近年、少年非行が増えて、経済的にも問題のない普通の家庭からも、非行が多く生まっていると言われ、年頃の子供をもつ私達には子育てのむずかしさは、文字や言葉に言い表わせない程の難問題です。子供を愛するあまりに、ちやほやしすぎてわがままに自制心のない子供に育ててしまつたり、病気やけがを心配してひ弱に育ててしまつたり、世話をやきすぎて、自立心や生活力のない子供に育てあげてしまつたり……などの例は、私達母親にとり、子供の家庭教育のむずかしさを語りかけております。

我が家にも男の子と女の子と、男女の差はかなりあります。四歳の差なんて下の女の子は何の抵抗もなく、兄妹でよくけんかをしています。兄妹のなかた私には、それがたのもしくもあり、自分の方から仲間になつていっしょに取つ組み合いもします。それも一つの心の交流の場であ

ると信じております。

もう一つ我が家での原則は、夕食はかならず、夫の帰りを待ち、家族全部で夕食を取るように心がけております。

会社の事、学校での出来事、家庭での一日六人がそれぞれに報告をするようにして

おります。それも家族の輪だと思います。

食べもの一つにしても六個にわけ、子供達や夫にも残しておくならわしから、祖父母の暖かさを感じております。

私の入っております東陽小家庭教育学級の資料の中に子育て禁物集があります。

一、親の神経質（イライラ、口ぐせ）

二、夫婦げんか（ののしり合い、原因追求、物をこわす）

三、夜ふかし、朝寝、子供と一緒に起きない。

四、隣近所や交際している人の陰口、悪口

五、見栄、浪費、借金・親のつっぱり。

いかがでしょうか、私達東陽小の会員は、常に頭の中に入れ、一日一日の生活の中でどのように活用すべきか、親の私達の宿題となっています。「親が子供の年齢にかえつて、我が子をみつめれば叱ることは半分ですむ」とも言われます。

私の家庭教育の心の中の原則を記しまし



自転車に乗つた 私も一役かつてます

桑郷の斎藤達雄さんの

畑には、自転車に乗つたカカシが立っています。

これはラツカセイを蒔いた後、芽がでないうちに

カラスが食べてしまうのを防ぐのに立てたもので、

人間もハツとするようなことができえです。珍しいこのカカシ、道行く人も振り返っています。

お元気ですか

あなたの健康の秘訣を一言

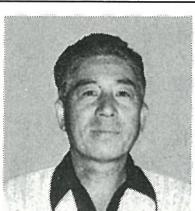
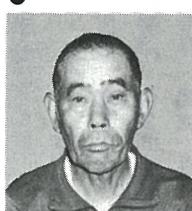
新井 鈴木 勝夫さん

昭6・3・17

谷中 越川 悅子さん

昭7・12・17

一日中二人の孫の面倒におわれて夢中です。病は気からといふことわざのとおり、夢中になることが健康につながっているのかも知れません。



たが、私は子供達の教育と家庭での平和の為に毎日奮闘したり、失敗したりしている母親です。